

## ベストクラス選定理由書

作成者：蛭田 久美子、池田 伊吹、石井 基晴、寺内 凌、川内 充延、進藤 佑香

|   |             |                  |
|---|-------------|------------------|
| 科目名称 教科・領域の内容・指導法研究VI (小学校英語)   |             | (担当教員名： 和田 あずさ ) |
| 課程： 大学院 (専門職)   | 開講時期： 前期    |                  |
| 授業形態： 講義・演習   | 授業規模： 30人以下 |                  |
| インタビュー対象教員名 和田 あずさ<br>(実施日時： 8月5日(水) 13:10~14:00 ; 実施場所： zoomによる開催 )  |             |                  |
| インタビュー対象受講者名 受講者修了のため、該当者なし<br>(実施日時： ; 実施場所： )   |             |                  |
| <h3>選定理由</h3> <p>和田先生は、物腰が柔らかく穏やかな印象でありながら、指導について語られる姿からは、凛とした知性を感じさせる素敵な先生である。明るい笑顔でお話しして下さることも、学生の安心感につながっているのであろう。和田先生の授業は丁寧で配慮が行き届いていると好評である。</p> <p>&lt;模擬授業と熱い指導&gt;</p> <p>授業では、模擬授業を積極的に取り入れられ、熱心に指導されたことが、学生にとって深い学びにつながっている。小学校外国語活動や外国語科の模擬授業において、グループでの振り返りやディスカッションを積極的に行い、相互の意見交流が活発になされたようである。その振り返りにおいて、小学校の授業では、どの程度英語を使うべきかという議論や、学生が子どもの立場に立って考え、アクティビティが有効であったかどうかなどの考察が行われる。</p> <p>&lt;和田先生の授業そのものがアクティブラーニング&gt;</p> <p>今年度から実施された小学校学習指導要領外国語では、話すことが「発表」と「やり取り」に分かれた。先生はこの変革にも丁寧に指導されており、やり取りにおける指導が難しいという側面を捉えて、やり取りにおける即興性や英語を運用する能力を学生につけるように尽力されている。したがって、英語力に自信がもてない学生からも好評だったようだ。また、和田先生は、外国語教育だけではなく、他教科との関連も視野に入れて指導されており、模擬授業や振り返りで体験したことは、全教科に共通することであると気づくような指導を心がけられている。</p> <p>&lt;理論と実践の融合&gt;</p> <p>授業づくりにおいては、まず、理論や学術的な内容について学び、それらを自己とすり合わせ深化させる。その後、授業事例を見て学び、授業づくりのイメージをもつ。学生であるからこそ、教材に向き合う時間があるので、場面設定やコミュニケーションの必然性をもたせる工夫をするなど、先生と学生が一体となって授業づくりに取り組まれている。このことから、理論と実践の融合を図る指導がなされていることが分かる。</p> <p>最後に、和田先生のお話を聞いていると、学生に考えさせたいこと、将来教員になったときに教師としてビリーフをもてるような指導をされていると強く感じた。小学校で外国語(英語)を教えるとはどういうことかと、和田先生自身も常に向き合っておられるところに、この授業の魅力がある。Eグループとしては自信をもって、本授業をベストクラス候補として推薦する。</p> |             |                  |